

振興会だより

よしだ

2013年(平成25年)
12月20日発行
第29号
吉田地区振興会

元気な笑顔をみつけた

9月15日(日)午前10時から市民文化センターで、今年も240名余りの敬老者をお迎えし、吉田地区敬老会を開催しました。



開会式では、ご来賓としてご臨席いただいた浜田市長をはじめ3名の方からのご祝辞で花を添えていただき、出席者の最高齢者南波博三さん(100歳)が代表で振興会会長から記念品を受

け取られました。

開会式の後は、吉田小学校や吉田保育所・吉田幼稚園による演奏や踊りをはじめ、民謡やダンスなどお祝いムードいっぱいのアトラクションが行われました。会場内では久しぶりに見る顔もあつたようで会話も弾み、楽しい1日を過ごしていただくことが出来たのではないかと思います。



来年もお元気で、この会場でお会いできることを楽しみにお待ちしております。

最後に、敬老会をお世話いただいた実行委員の皆様・ステーション発表していただいた皆様・敬老会協力金などご支援いただいた皆様、ご協力誠に有難うございました。

大中康治(82)さん
振興会のお世話をされておられる皆様、今日は盛大な敬老会を行っていただき有難うございました。私たちもいつまでも元気で頑張りたいと思いますので、よろしくお祈りします。

山岡和子(78)さん
今日は法専寺コーラスグループの一員としてステーションにも立ちました。難しい楽譜でしたが間違えないよう歌うことが出来ました。楽しい敬老会を有難うございました。



お知らせ

自治懇談会の開催について

*日時 平成26年2月8日(土)

お昼1時30分から3時

*場所 クリスタルアーショ

4階 小ホール

当日は、市政について浜田市長からお話を聞き、その後まちづくりについて懇談を行います。まちづくりについて市長にお聞きしたいことがあれば平成26年1月11日(土)までにお知らせください。なお、当日自分で直接お聞きになられる場合は、連絡は不要です。ただし、当日の制限時間の範囲内です。



広報原稿の募集について

新年の「とんど」の様子を1000字位にまとめて写真と共に投稿してください。お待ちしております。

今田基良 電話

090-1333-9045

住みよいかつくりを 目指して

まちづくりリーダー研修

11月28日(木)に行政区委員を対象としたまちづくりリーダー研修として竹原市東野町を訪ね、「東野町協働の町づくりネットワーク」の代表と交流会を行いました。東野町は、空港にも高速道にも近く世帯数560戸、人口1,300人余りの静かなところですよ。

まちづくりについては、平成20年に住民同士のつながり「絆」の再構築に向けて、「笑顔でふ



防団・民生委員・PTA・老人クラブ・駐在所など22団体が運営委員会を組織し、防犯防災・環境衛生・福利厚生・行事・広報の5つの部会を

れあい お互いに助け合い 安心して暮らせる町」をめざし、平成20年に自治会をはじめ、消防団・民生委員・PTA・老人



子育て支援・老人福祉・環境美化などを柱に安心・安全へのきめ細かい取り組みがなされており、地域の「絆」の再建がうかがえました。

構成し活動されています。活動の内容は、防犯パトロール・防犯講演会・あいさつ声かけ運動・

活動の前半を振り返って

吉田地区振興会会長

津賀山一幸

平成25年度活動の前半を顧みますと、年度当初に計画いたしました数々の活動においては、産業観光部など各活動担当部の役員をはじめ会員の皆様には、大変なご協力を賜りながら相応の効果も上げていただき厚く御礼申し上げます。

4月の「郡山桜まつり」は残念ながら雨天中止となりましたが、12月上旬の「友愛訪問」までの多くの活動は、順調に実行でき、振興会活動の目的としています「会員相互の親睦を深め、明るく住みよいまちづくり」を達成しつつあるところです。

振興会活動は、6月に実施しました大浜運動公園内の芝の植栽作業のように多数の会員の皆様のお力添えが成功の要因であ

りますことは言うまでもありません。加えて今後も引き続き、各種活動に対する会員の皆様のご意見・ご要望をお届け願いたく思います。

残す後半では、計画した行事等は着実に実行することのほか、自然災害に対する身の回りの防災への取り組みを強化する必要があります。ご支援とご協力、ご参加をよろしく願いたします。



交流会の後は、地元のオリジナル曲「ふるさと東野」を老人クラブの皆さんのコーラスで聞かせていただきました。また、昼食は約30名の会員の方と6班のグループに別れて意見交換や自己紹介をしながら、手作りの料理をいただきました。心のこもったおもてなしに、改めて「絆」の大切さを思い知らされ、「毛利家」と「小早川家」の関係を心のどこかに感じた『ほっ!!』とした1日でした。(研修の具体的な内容は追って機会をつくりお知らせします。)

第18回吉田地区グラウンドゴルフ大会の開催

9月29日(日)吉田中学校に於いて14チーム参加により開催しました。

成績は次のとおりです。

団体の部

- 第1位 高樋
- 第2位 六日市 B
- 第3位 上迫
- 第4位 五丁目 1組
- 第5位 西土手
- 第6位 六日市 A
- 第7位 一丁目1番地
- 第8位 川向

個人の部 男子 女子

- 第1位 隅田克良 山木陽子
- 第2位 大中康治 河野加代子
- 第3位 吉井和久 仁井幸世子
- 第4位 坂本 衛 橋野富士子
- 第5位 山県武士 竹広次子

以上の結果をもって、11月17日(日)に土師ダムグラウンド場に於いて第16回吉田町グラウンドゴルフチャンピオン大会が

開催され、各地区の代表32チームが熱戦を展開しました。吉田地区からは上位8チームが参加し、その結果、西土手チームが準優勝に輝きました。

また、この大会で個人男女とも上位23名が12月8日(日)に実施された安芸高田市長杯の大会に出場されました。今後毎日頃から練習を重ねて健康維持に努めましょう。(担当 体育部)



女性部健康教室に 参加して

地域の活動に参加してみたいと思ひ、まずは健康教室から始めたのが最初でした。活動は年に4〜5回有り、毎回30人余りの参加で、おしゃべりや楽しい運動、そして料理の講習もありあつたという間に1年が経ちました。

以前は肩や腰が痛くてもあまり気にも留めずに毎日を過ごして

ていましたが、最近はだんだんと体力の衰えを感じ始めてきました。そこで、運動指導士の正田陽子先生のご指導で1日の疲れをちよっとした運動で楽になる方法を教えていただきました。椅子に座つてのストレッチやポールを使つての軽い運動など5分程度で快適に過ごせる秘訣などを教えていただき、ユーモアたっぷりの解り易い説明でとてもよく理解できます。



リフレッシュした後は料理教室が始まります。今年から吉田町食生活改善推進委員の皆様のご指導で、家庭料理の基本から塩分控えめメニュー、低力口

リーメニュー等簡単なおいしく作れる献立を作成していただき、また外食での警戒メニューや、ちよっと用心メニュー等アドバイスもあり勉強になります。美味しく出来上がった料理を盛り付けし、楽しくおしゃべりしながらいただきます。あつという間に時間は過ぎてしまい、帰るときは「また元気で会いましょうね。」とみんなで声を掛け合います。

健康教室は、地域の皆さんとの交流で身も心も「ほっと」し、笑顔いっぱい元気になる教室です。(女性部員)



地域の美化活動

11月14日(木)に常友と大浜の国道交差点ロータリーにパンジーの植え付けを行いました。今回も吉高アグリビジネス科1年生の生徒が育ててくれたパンジーの苗1,100株で、生徒10人と振興会会員15人が1株ずつ丁寧に植えつけました。



また、11月24日(日)には町内一斉クリーン作戦としてそれぞれの地域内のゴミ拾いを行いました。花いっぱいなので、そして投棄ゴミのない地域にしていきたいものです。



しかし、上の写真は10月末に撮ったものです。ふと田んぼの中を見るところ「ゴミの入ったレジ袋が3つ投棄してありまして。中身は、たばこの空箱・ペットボトル・空き缶・菓子袋などです。腐りはしないし、肥料にはならないことはみんなよく知っているはず。なぜ正規の袋に入れてゴミステーションに出せないのか、不思議でなりません。

第28回秋祭り

太郎丸自治会

10月12日(土)、 「自治会秋祭り」を開催しました。昭和58年に自治会を発足して30年目の節目の年に、28回目を迎えることができました。

自治会員や地域のコミュニケーションを図ることを目的に、子ども会の「ビンゴゲームと餅ま

き」でスタートし、バザーでは食券売り場に長蛇の列ができ、「うどん」や「おでん」等の各コーナーではおいしいものをほおばるたくさん笑顔が印象的でした。

お楽しみ「神楽」では、広島市の「下五原神楽団」による3年連続の熱演に会場から大きな拍手をいただき、会場全体で盛り上がる事ができました。

これからも、地域のみんなで協力して、住みよい地域づくりの一環としての「自治会秋祭り」を継続していきたいと思えます。



編集後記

以前、新聞に「鏡は先に笑わない」と述べた人のことが載っていた。最初意味が解らなかつたが、記事では「心の扉はまず自分から開かねば、という人生訓なのか。」と説いてあった。考えてみれば苦虫を噛み潰したような顔をして鏡の前に立ってみるとそこには苦虫を噛み潰したような自分がある。しかし、自分が笑顔をする鏡の中の自分も笑顔に変わる。そうか、話をしたことがない人でも自分から進んで話しかければそこに新たな人間関係が生まれてくる、とも説けるか・・・。

本欄で「声かけ」や「あいさつ」について再々述べてきましたが、みんなで声を掛け合っでコミュニケーションを広げ、新年も「住みよいまちづくり」に取組もうではありませんか。迎える新年も、健康で幸多き年でありますことを祈念します。

今田基良

